

チャレンジ工房News

第75号

平成29年6月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

イラスト Ava・keiko

工房の日々

～それぞれの研修風景～

Aさん

3月から当工房に入所された失語症の障害をもつAさんは通所し始めた頃より、熱心に週4回来られて勉強されています。

言語障害がある私がそうなのですが、Aさんも頭で考えていることや思っていることを言葉として表現することのもどかしさや障害の特性上より、カタカナ・漢字などの文字や小さな活字が読みにくいというもどかしさなど色々なもどかしさが絡み合う中での研修なので、私たちには想像ができないほどの葛藤をされながら、日々研修に臨まれています。

パソコンは、私たち障害者にとって「社会参加をして行ったり、コミュニケーションを図っていく上で、必要不可欠なツールの1つ」だと日々の日常生活の中で実感しています。

Aさんにも「是非パソコンを少しずつでも勉強してもらい、Aさん自身のこれからの社会活動の幅やコミュニケーションの幅を広げるために役立って貰いたい」という思いで、テキストの図や文字が大きめで見やすいテキストを取り入れたり、ふりがな付の補助テキストやオリジナル問題集を作ったりして、Aさんと共に思考錯誤を繰り返しながら、一緒にさせて頂いています。

入所時は、あまり発語もなく、パソコンの電源の入れ方も文字入力もかなり戸惑われて、2～3行入力するのが精一杯でしたが、少しずつキーボードの文字の配列も覚えられ、入力するときも「入力する文字を一文字一文字」言葉にして発せられて、一生懸命されている甲斐もあって最近では、発語も多くなり、一回の研修時に入力できる文字数も少しずつ増えてきました。



っかり受け止めていき、個々所員さんの障害の特性や研修目的に合ったテキストを使った研修や工賃仕事を提供していくことができればと思っています。

(曲 圭子)

6月・7月の予定

7/24(月) パソコン学習会

13:00～15:00

※今回は、「暑中見舞いハガキ」を皆さんと一緒に作る予定にしています。



私たちもAさんのふりがな付きのオリジナルテキストや問題集を作ったり、指導方法を検討するのに毎日かなりの時間を要しているので、何だか気が遠くなりそうですが、「わかった! 分かったよ! できた!」と満足そうにニコニコされているAさんの姿を見ると、私たちまで嬉しくなり、テキスト作りの苦労も見軽くなるほどです。

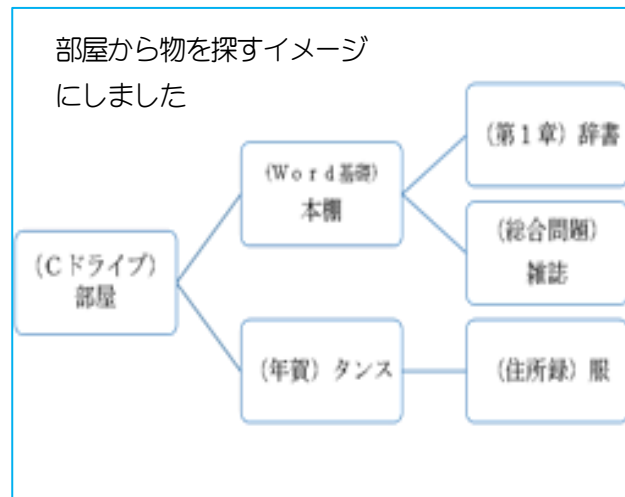
今Aさんのように、テキストの工夫や研修内容の工夫が必要な所員さんや「一般企業やA型・B型の就労支援施設で働くことはできないけど、ちょっとした小遣い程度は、稼ぎたい」というニーズを持った所員さんが増えてきているので、工房の存在意義や役割がより明確なものになってきました。

これからも一人ひとりの所員さんの研修目的や意向をし

5月の勉強会 ～PCファイルの基本的な階層構造について～ を行いました。

パソコンで必要なデータを探するとき、「自分がどこに保存したのか解らない」、「データが行方不明になった」などの質問が研修中に所員さんから多かったので、基本的な道順（つながり）についてもう一度、復習をかねて気軽に皆でやってみようということになりました。

まず、ご自分の見つけやすい名前で作った新しいフォルダーを作ってもらい、そのフォルダーを指定した場所にコピーしたり、移動したりする練習をしてもらいました。皆さんコピーしたフォルダーがわからなくなったり、自分の付けた名前を忘れたりとお悪戦苦闘でしたが、勉強会は楽しくいろいろなことに興味を持っていただくためでもありますので、和やかな雰囲気で行えました。



所員・スタッフのリレーコラム

私がパソコンと出会って

早いもので、私がパソコンを学び始めてから8年近くになりました。ワープロでの文字入力の実験はありましたが、パソコンに触れる機会はほとんどありませんでした。本格的にパソコンを学び始めるきっかけはハローワークで紹介してもらった職業訓練での障害者を対象としたパソコン教室でした。大体、一か月ぐらいの期間だったでしょうか。その頃からパソコンが楽しくなりはじめ新聞のチラシを真似てみたり、本を買ってみたりしました。ちょうどお世話になっていた相談員さんにパソコン工房チャレンジの開所のパンフレットを紹介していただいたのがチャレンジ工房との出会いでした。

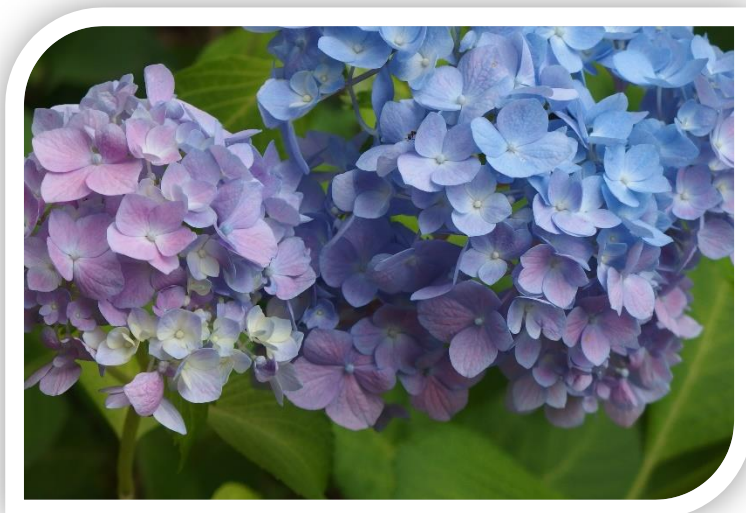
2011年4月、地域活動支援センターパソコン工房チャレンジが開所し、私も所員として通わせていただくことになりました。苦手だったパソコンも少しずつ出来るようになり、(時にはドリルの問題一問に半日かけた日もありました)パソコン検定も3級ですが、合格でき、工房のスタッフとしても働くことができました。これからもパソコンの研鑽を続けていきたいと思えます。パソコンと出会わなかったら、どんな現在を送っていたのだろうか。人生は出会いの繰り返しで、成り立っていくものだと思います。人やモノとの出会いを大事にしていかなければいけないと思う今日このごろであります。

浦部

街角の風景

所員のSさんが撮ってきて下さった季節の写真です

気候は夏といった感じですが、植物を見ると季節感を感じますね。



ハマヒルガオ